

自ら学び 豊かな心で たくましく生きる生徒

しただの郷学園
下田中学校便り第3号
令和2年6月24日発行



文責 校長 小林貴英

第1 考査

年度当初の予定から
2週遅れの実施

1年生は入学後
初めての考査

テスト直前 担任が気合を注入



1年2組教室

開始のチャイムが鳴り、
緊張感がピークに！



1年1組教室

テストの結果は大切。

結果に至る過程も大切。

それを受けて目標を掲
げることはさらに大切。

掲げた目標の達成に向
けて取り組もう！

7月1日以降の教育活動の段階的緩和について

～ 市教委通知 ～

○部活動

- ・他校との練習試合、近隣市町村の学校との交流活動が可能
- ・必要な範囲での密集や近距離で組み合うなど接触する活動が可能

○体育授業

- ・密接となる実技も必要に応じて可能

○修学旅行等

- ・県外への修学旅行等は8月1日から可能
(ただし、現地の感染状況を精査した上で実施)

◆感染予防体制の継続

- ・3密回避（ソーシャルディスタンスの徹底、前向き座席、換気）
- ・健康管理（検温、手洗い、うがい、咳エチケット、必要なマスクの着用）
- ・衛生管理（校内の消毒）



不明な点がありましたら学校
へお問い合わせください。



下田ドライブで見たもの

第1 考査前日、スクールバス名下線（塩野渕線、早水線の生徒も乗車）を自分の車で追いかけてみました。（運転手さんの許可を得ました。）生徒たちが、どんな所からどんなルートで通ってくるのかを知りたかったためです。学校を出発し、最後の生徒が降車するまで約 50 分間。10 か所ほどで停車し、バスから降りた生徒たちはそれぞれの方向へ帰っていきます。最も長い生徒はどれほど歩くのでしょうか。時季により暗くなっている道を想像してみると不安になります。先日全員に配付したクマ鈴は、正にお守りです。降車した生徒はバスの中にいる友達に「また明日！」と手を振ります。私の顔を見て「えっ？なんで校長先生がいるの？」という表情の生徒もいます。私に会釈をする生徒や「さよなら」と声を出す生徒。深々と頭を下げる生徒もいます。人それぞれ、何かしらのコミュニケーションを取る生徒たちの姿に嬉しくなりました。



さて、今回の約 70 分間の下田ドライブで、約5分おきに私が目にしたものがありました。それは幟（のぼり）です。これは、ただの郷学園全体（6校）で取り組んでいるもので、「交通安全」は昨年度から、「あいさつ運動」の幟は一昨年度から設置しています。あいさつ運動そのものは、何年前前から実施しています。幟の設置や管理において、小学校の保護者の方々も含め、各地区で御協力いただいていることが実感できました。おかげさまで、各校に爽やかな挨拶の声が響いています。

◆ メールをいただきました ◆

学校が始まった5月から交通安全協会の街頭指導をしております。中学生が4人通ります。はじめの頃は2人くらいが挨拶をしましたが、6月10日の街頭指導の時には4人が挨拶をしてくれました。日頃の教職員の皆さんの御指導と、PTA あいさつ運動の成果と思えました。いつでもどんなことでもお役に立てることがあれば申し付けください。（一部抜粋）



ヒヤリ！



下校時、一人の自転車通学生がピロティから、自転車を運転した状態で道路に出ました。（※ピロティを出る時は自転車を押して出ることになっています。）通りかかった大型ダンパーカーが急ブレーキ！運転手は危険を予測し徐行していたため停車することができました。交通安全に限らず、日常生活において危険を予測する力を育まなければなりません。